

【代表的な研究テーマ】

□ **近世ヨーロッパ史に関する研究**

□ **世界史・歴史教育に関する研究**

キーワード：近世ヨーロッパ史、世界史、歴史教育

研究の概要

戦争がなぜ生じどのように収まったのかに関心を抱いたことが歴史を志す動機となったこともあり、一種の戦国時代といえるヨーロッパの近世史を専攻するようになりました。特にこの時代最大規模の混乱といえる三十年戦争を終息させたウェストファリア条約を中心に、関連諸国の利害や平和を実現しようとした外交官たちの交渉に焦点を当てて研究を進めています。こうした視点は現代の戦争・紛争の原因を追究し、どのように平和を実現していけばよいのか考えていく上でも示唆に富んでおり有益といえるでしょう。

他にも、我々日本人と直接関係のない外国の歴史や世界史はなぜどのように学ぶ必要があるか、「暗記」科目とされる歴史をどのように教えるのか、といった歴史の意味や教育の仕方についても、未来の教員を志すゼミ生たちとともに考えております。



1648年10月25日
オスナブリュック市庁舎前広場における
平和条約締結に関する告知
(19世紀レオンハルト・ガイ作。原画は第2次世界大戦中に焼失している。パブリックドメイン)

社会連携へ向けたアピールポイント

歴史全般に言えることですが、過去と直接関係するすべを持たない現代人の我々がそれを考えることは、本来理解し得ない他者へと接近する感性を磨き、直接見知ることができない存在への想像力を育むことにつながります。また、それを論述する作業の中で、一見関係ないように見える事実の因果関係を探求することを通じて、無用の用を知り、複雑な社会を理解し対応する力や、新しい事物を発見する力、物事を有機的に結び付けて考える豊かな発想力を鍛えます。何よりも歴史を作る主体は人間ですから、人間そのものに対する理解と愛情が深まるのではないのでしょうか。以上の問題意識に立ち、これまでの具体的な活動としては、附属学校における共同研究者として歴史分野の授業実践に関する助言や出張授業を行ったり、中高生からの歴史に関するインタビューに回答したり、専門的な研究を世界史の授業教材として開発する研究論文を発表したりしてきました。

■ その他の社会連携活動

- ・ 静岡大学教育学部附属島田中学校共同研究者
- ・ 静岡大学教育学部附属静岡中学校「探究」授業分担

■ 相談に応じられる関連分野

- ・ 世界史・西洋史に関して
- ・ 歴史教育に関して



伊藤 宏二
学術院教育学領域
社会科教育系列
准教授

4 質の高い教育を みんなに	10 人や国の不平等 をなくそう	16 平和と公正を すべての人に